様式３(2020.08改)

作成日　令和2年11月28日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370400976
事業所名	グループホーム円頓寺本館

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	地域との交流が中断しているが、規模を縮小してホームイベントを開催している。調査当日の「焼き芋会」では、ホーム周辺の家庭にお裾分けをした。 体験学習が中止となった園芸部の中学生が花の種を届けに来たり、ホームの防災訓練に消防署の他、町内会長やいきいき支援センター（地域包括支援センター）の担当者が参加したりと、交流の継続も見られる。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	コロナ禍によって、運営推進会議が変則開催となっている。 3月の会議は、利用者と職員に加え法人内の姉妹ホームの管理者が集まり、内輪の会議となった。 6月は通常会議となったが、8月は町内会長と家族1名のみの参加で行い、10月は通常通りに開催できた。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	いきいき支援センター（地域包括支援センター）と連携を図っており、担当者の運営推進会議や防災訓練への参加がある。 生活保護受給者6名が入居しており、区の保護係との連携も強固である。区の担当者の定期的なホーム訪問も、電話による確認に変更されている。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	新型コロナウイルス感染症第3波の到来により、現在家族の面会は全面禁止の措置を取っている。 ホームの取組みや利用者の様子は、毎月発行のホーム便りで伝えている。Lineを活用する家族が増え、ホームから写真を送ることにより、より詳細に利用者の近況を伝えることが可能となった。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍によって、運営推進会議が変則開催となっている。これまでは奇数月開催であったが、5月開催分を6月に延期したため、以降偶数月開催となっている。
6月は通常会議となったが、8月は町内会長と家族1名のみの参加で行い、10月は通常通りに開催できた。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										